

夏休みバリアフリー 教室 in 宮古島市

沖縄総合事務局では、高齢者、視覚障がい者、身体障がい者の疑似体験や介助体験等を通じてバリアフリーについての理解を深めてもらうとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もが高齢者、視覚障がい者等に対し「お手伝いしましょう」と自然に声をかけてサポートできる「心のバリアフリー」を目指し、平成13年度以降バリアフリー教室を開催しています。

小学生27名が参加！

児童からの感想

今年度は、8月13日に宮古島市でバリアフリー教室を開催しました。当時は、宮古島市内の小学校2年生から6年生までの児童、合計27名が参加しました。宮古島市は平成25年度に県内で初めて「バリアフリー基本構想」を策定し、バリアフリー化の推進に取り組んでいます。宮古島市中央公民館で座学のあと、バリアフリー基本構想で重点整備地区内に含まれ、整備を実施しているカママ嶺公園に移動して、ノンステップバスの乗降や展望台への移動に関する体験学習を行いました。当時は宮古島市、宮古島市社会福祉協議会、株式会社八千代バス・タクシー、沖縄県立宮古総合実業高等学校からの協力を得て、開催しました。



車いす体験



高齢者疑似体験

アイマスク体験



修了証交付



座学

と思った。「目の不自由な人や障がいのある人の立場になって考えたいと思った。」「車いすが使えるスがあることが分かった。」など疑似体験で学んだ感想を話していました。

体験学習を通して、身の回りの施設

や設備、ノンステップバスなどが障がい者や高齢者等にも利用しやすいよう整備されている事やどういう役目を実現についての理解を深めて頂くとともに、「心のバリアフリー」を積極的に推進していきたいと思います。

沖縄総合事務局は、今後も「バリアフリー教室」の開催を通じて、より多くのみなさまにバリアフリー化社会の実現についての理解を深めて頂くとともに、「心のバリアフリー」を積極的に修了証を交付しました。